

東京外国語大学教授  
中嶋 嶺雄



OPINION LEADER

**[101]** 中国は、その面積が日本の約二六倍もある巨大な国ですが、人間の住める居住空間は意外に少なく、しかも農地が大部分を占めるので、都市とその周辺には人口が驚くべき状態で密集しているのです。では、中国の可耕地面積は、日本全体の面積の何倍くらいでしょうか。

- ① 二二・八倍
- ② 二〇・五倍
- ③ 一七倍
- ④ 一・八倍
- ⑤ 二一・五倍

**[102]** 中国は過去一〇年余り改革・開放の政策で高い経済成長率を示しましたが、一人っ子政策にもかかわらず人口も増大しているために、一人当たりGNPは依然として低い水準にあります。現在の中国の一人当たりのGNPはおよそどの程度でしょうか。

- ① 二〇〇〇米ドル
- ② 三三〇〇米ドル
- ③ 二八〇〇米ドル

**[103]** 台湾はN―E―S諸国の中でも最も安定した経済的実績を持っており、一人当たりGNPも間もなく先進国レベルに達します。現在の台湾の一人当たりのGNPはどの程度でしょうか。

- ④ 五〇〇米ドル
- ⑤ 一五〇〇米ドル
- ① 三三〇〇米ドル
- ② 二二〇〇米ドル
- ③ 八五〇〇米ドル
- ④ 六三〇〇米ドル

**[104]** 中国も沿海地区の経済発展は進んでおり、とくに珠江デルタ地帯では、香港の経済的影響下に高速道路も建設され始めています。現在、高速道路が完成しているのは、どの区間でしょうか。

- ① 香港―広州間
- ② 香港―深圳―マカオ間
- ③ 広州―佛山間
- ④ 深圳―広州間
- ⑤ 香港―深圳―広州―珠海間





東京外国語大学教授

# 中嶋 嶺雄

## OPINION LEADER

### PROFILE

国際関係論・現代中国学。1936年松本市生れ。60年東京外国大中国科卒。65年東大大学院国際関係論課程修了。社会学博士(東大)。81年「北京烈烈」(筑摩書房)でワントリ一等賞。著書「中国の悲劇」(講談社)。「歴史が求めているものは何か」(PHP研究所)ほか多数。

**【065】** 中国では周知のように数多くの方言が語られています。しかし、北京語は「普通話」もしくは「北京官話」として普及しており、英語ではこれをマンダリン(Mandarin)と称しています。なぜぞういこののでしょうか。

- ①マンダリンが役人という意味だから
- ②中国の代表的な産物としてマンダリンみかんが知られており、そこから北京語を指す言葉になった
- ③清朝の官吏が用いた満州語が標準語となったため
- ④中国語で一般に普及している言葉をマンダリンというから
- ⑤マンタールン(満大人)つまり「満州王朝(清朝)の役人」が使った北京方言が標準語となったため

**【067】** 広東語が香港人の言葉

であるように、福建語は台湾人(本省人)の言葉でもあります。では、台湾人が一般に使っている言葉が必ずしも通用しない都市は次のどこでしょうか。

- ①廈門 ②泉州 ③福州
- ④台南 ⑤漳州

**【067】** 天安門事件以後の中国では、学生が外国へ留学することを厳しく規制しています。その最大の理由はなぜでしょう。

- ①留学生たちが留学したまま帰国しないから
- ②留学生たちが「ブルジョア自由化」の風潮をもたらす可能性があるから
- ③留学生たちが特権階層化するから
- ④留学生たちに高級幹部の子弟が多すぎたから

**【068】** 中国の民主化運動では「官倒」(官僚ブローカー)現象が

激しく批判されました。「官倒」の官は役人・官僚の意味ですが、倒とはどんな語源に由来するのでしょうか。

- ①ブラック・マーケットの意味
- ②「横流しする」「ころがす」という北京語の俗語

**【069】** 今日の中国では農村人口の都市への流入を再び厳格に規制しています。一般に、農村から都市へ出てきて戸籍登録ができるのは、次のどの条件の人でしょうか。

- ①両親が高齢化して収入の少ない一八歳以下の者
- ②一八歳未満の少年・少女
- ③都市生活に不可欠な有能な技術を開発した者
- ④年収五万元以上の万元戸で

農村の近代化に貢献した者  
⑤将来も子供が来ないという医師の証明書のある三五歳以上の結婚歴の長い子供のない女性で当局の許可証を得た者

**【070】** 台湾の李登輝総統は、ステイツマンとしてきわめて評価が高いばかりか、台湾の農業改善を推進した農業経済学者としても第一級の業績を持っており、彼が若き日に米国コーネル大学に提出した博士論文は全米学位論文優秀賞に輝いたものです。では、そのテーマは?

- ①台湾経済の現状分析
- ②日本統治下の台湾経済
- ③台湾の農業水利事業の歴史的考察
- ④戦後アメリカの対台湾経済援助
- ⑤台湾における農・工業部門間の資本移動



週刊東洋経済創刊5000号特別企画

● OPINION LEADER



# 挑 日本のおピニオンリーダー50人に 政治・経済・社会大問題集 第2弾 戦

◎週刊東洋経済は6月8日号で創刊5000号を迎えました。5000号といえばわが国に  
現在する週刊誌の中で最も古い歴史を誇るもの。と同時に世界でも十指に入るものです。  
◎そこで創刊5000号を飾るにふさわしい特別企画として「政治・経済・社会大問題集」を  
企画しました。出題者はわが国を代表するオピニオンリーダー。内容も身近な生活問題から  
難解な経済理論まで、どれも知的好奇心をくすぐるものばかり。日頃のビジネスや学生時代  
に蓄えてきたあなたの知識を試す滅多にないチャンスです。◎では、ペンを片手にいざ挑戦！



今週の出題者

- 朝倉 正
- 加藤 寛
- 日下公人
- 鈴木淑夫
- 高原須美子
- 中嶋嶺雄
- 野口悠紀雄
- 長谷川慶太郎
- 水谷研治
- 森本忠夫

● OPINION LEADER